グリーンたいむ

2012-6月
vol.138
発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと

楽しい企画がいっぱい！
みんなで参加しましょう

今年度も４地域本部・37地区では、いろいろな楽しい催しを企画します。
新しく仲間入りした組合員、ベテランの組合員、まだ組合員でない人、などなど誘い合って、いろんな取り組みに参加し、みーんなでグリーンコープを体感し、楽しみましょう！子ども連れの方には託児も用意しています。地域本部や地区のお便り（チラシ）をお見逃しなく！

こんな取り組みがあります！

2011年度の取り組みより

出会い

グリーンズカフェ（組合員のつどい）

出会い、ふれあい、語り合い、グリーンコープを実感！

地域組合員総会

組合員一人ひとりが声を出し、地区の取り組み等を審議決定し、グリーンコープ運動をすすめていきます。

発見

肌質診断 & メイクアップ

化粧品メーカーを講師に、より美しくみせるメイクを体験！

夏祭り、ジョイ講座

お店で、夏祭り、パンやフラワーアレンジメント教室などを開催！

絵本の読み聞かせ

子育てワーカーズが出向いて実施。

料理教室

安心・安全なグリーンコープの食材を使った料理教室。講師は生産者やメーカー、食育の会わくわくのワーカー、組合員など。

- お肉屋さんの料理教室
- 野菜まるごと料理教室
- 子ども料理教室
- クリスマスオードブル作り
- おばちゃん直伝おやつ作り
- スイーツ作り etc.

ライフプラン講座 おこづかいゲーム

家計とくらしのワーカーズ円縁を講師に迎え、家計管理や子どもの金銭管理について学びます。

- 子どものこころを育てる金銭教育
- 共済学習会 etc.

感動

子育て講演会

講師を招いて講演会を開催。元気がもらえる話がいっぱい。

納得

工場視察・見学

取引先の工場を訪れ、自分の目で耳で安心・安全を実感！

- びん牛乳工場見学
- 永田製パン工場パスハイク
- 物流センター見学 etc.

農業体験・交流

産直産地を訪ね、米作りや青果の収穫を体験。生産者と交流し顔の見える関係を築きます。

- レッツゴーたんぼ
- トマト収穫体験
- みかん収穫体験 etc.

自生GMナタネ汚染調査活動

住んでる地域の自生ナタネを採取し、キットを使って調査。

せっけんの使い方実演

トロトロせっけんを使った掃除方法などを実演！

2012年度もグリーンコープ運動を地域に広げます！

地域総代会開催
5月17日～22日

４つの地域本部で地域総代会が開催され、2011年度の事業、活動、決算、2012年度の方針や予算が提案され、審議、検討の上、地域の総代によって承認されました。

県北 地域本部

5月17日（木）　和水町中央公民館 大会議室

組合員総数：13,748名（2011.11.20現在）　総代定数：62名
【出席状況】 出席者数：38名、 委任状：19名

グリーンコープを守るため、利用する組合員を増やします

地域理事長
赤星　聖美

グリーンコープを守るための特別決議とスローガン採択をしました。組合員みんなが毎週きちんと利用することで共同購入が成立することをお話して、生活協同組合の原点について皆で考えました。その後の積極的な意見や質問に、グリーンコープへの関心の高まりを実感した総代会となりました。また総代さん自らが、「グリーンコープの良いところを発信していきましょう！」と呼び掛けられた場面では、会場内に一体感を覚え大変心強く思いました。

2012年度は、総代の皆さんと共に理事、委員たちが元気いっぱい県北地域を牽引し、グリーンコープを地域に広げていきます。

第２部：抱樸館福岡館長 青木康二さんのお話

助け合い支え合い、共に生きていく地域づくりをめざすグリーンコープの事業の１つである生活困窮者自立支援施設「抱樸館」の取り組みが、館長の青木康二さんから紹介されました。

青木さん

抱樸館の開設は、2010年５月。これまでの相談者は400名を超え、現在81室は満室、入居待ちの人もいる。ホームレス問題は経済と密接な関わりがある。入居者は50才台が最も多いが、最近は低年齢化している。

抱樸館の一番の目的は仲間をつくること。ここに来た人はみんな一人ぼっち、人とのつながり（＝ホーム）を持たない人たち。「ホーム」と呼べる関係をつくることからすべてが始まる。抱樸館がホームになりたいと思っている。

グリーンコープが抱樸館に取り組むのは、共に生きる・支え合って生きることを根幹にしているから。「皆さんも支える輪に加わってください。」

参加者の声

- ホームレスになる人は心優しい人ではないかと思う。この取り組みをもっと広めてほしいし、私も支えていきたい。
- 自立支援という前に絆をつくる施設だと思った。

第１部：地域総代会

審議の様子

厳しい事業が続く中、仲間づくりを最重要課題として、米と野菜の利用普及に取り組んできた様子が報告されました。2011年度は世帯当りの利用高の落ち込みも下げ止まり、新年度は利用する組合員を増やし、元気に明るく共にグリーンコープ運動を広げていくことが確認されました。

総代の声

- みんなのがんばりをよく感じた。グリーンコープでよかったと本当に思う。総代としての責任を持って、もっと利用し、良さをアピールしよう！

- 新商品もうれしいが、昔からある商品も大切に利用普及してほしい。
- 利用を増やすために、予約品の種類を増やすことを検討してほしい。

特別決議・スローガン

特別決議「グリーンコープを守るために利用する組合員を増やします」と、２つのスローガンが地域理事から読み上げられました。組合員が組合員であることに立ち返り、協同について見つめ直すことが呼び掛けられ、拍手で採択されました。

県央東 地域本部

5月22日（火）　熊本県立劇場 地下大会議室

組合員総数：26,817名（2011.11.20現在）　総代定数：110名
【出席状況】 出席者数：69名、 委任状：21名

「協同」の意識を高めながら、楽しく組合員活動を進めよう！

地域理事長
上田　玲奈

東日本大震災後、誰もが目に見えない不安を抱えながら生活する中で、今まで以上に食に対する安心・安全が求められています。

私たち県央東地域理事会はこの声に応えるべく「生命（いのち）を育む食べもの運動」を広く進め、新しい仲間を増やしていきたいと思います。

また私たちは今一度自分たちの足元を見つめなおすという意味でも「協同」という言葉について考えていかなければならないと思います。

その上で、グリーンコープの幅の広い様々な運動をたくさんの方に伝えながら、自らも楽しんで活動していきたいと考えます。

第２部：産直畜産物学習会

「2012年度産直畜産物の利用を進めていくための第１歩として、どんな方がつくられているのかを知る場として開催した」と上田理事長より挨拶。

◆ 那須ファーム（たまご生産者）

那須さん

縁故たまごという気持ちでつくっている。開放鶏舎、non−GMO飼料、国産飼料米を15％使用、低温流通などどこにも負けないたまご。

◆ 南阿蘇畜産農協（牛肉生産者）

津留さん（左）、松岡さん

繁殖と肥育を地域管内一貫経営。粗飼料は阿蘇高原の牧草と稲ワラ。あか牛を阿蘇に放牧することで草原も守っている。

◆ グリーンストック

園山さん

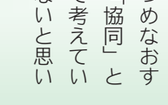
阿蘇は生物多様性の宝庫であり、九州の水がめ。グリーンコープの活動の理念はいのち。水は生命資産。草原を守ることは水を守ること。

清村さん

◆ 清村養豚場（豚肉生産者）

皆さんの買い支えがあるので小さい規模でもやっていける。食べてもらっている人がわかるので、つくり甲斐があり、それが心の支え。

◆ 大矢野原農場（鶏肉生産者）



日永さん親子

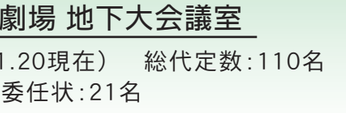
温度も管理した開放型の広々とした平飼い鶏舎で元気に育てている。昨年から息子と一緒にやっている。
（話担当はお父さん。画像映像担当は息子さん）

第１部：地域総代会

審議の様子

みんなで意見を出し合い、考え「お米と野菜のプラス２キャンペーン」に取り組み、精一杯がんばってきたことが数字にも表れたことなどが報告されました。そして、グリーンコープがずっとあり続けるために、良さを伝え、組合員として「１週間に4,000円注文しよう！」を呼びかけるなど、今自分たちにできることをしっかりやっていきたい、と新年度への意気込みが話されました。

総代の声



- 組合員拡大目標数の出し方やどうやって人件費を圧縮したのか教えてほしい。
- 少子高齢化が進む今、高齢者でも買いやすい小規格の商品や、すぐ食べられるパック商品などの開発も考えてほしい。

地域理事長バトンタッチ

上田新理事長（左）から
牧前理事長へ花束贈呈

「県央に育ててもらった」と感謝の気持ちを述べる牧前地域理事長。

「グリーンコープが大好きだから大きな１歩を踏み出すことができた」と上田新地域理事長。

2012年度もグリーンコープ運動を地域に広げます！

地域総代会開催
5月17日～22日

４つの地域本部で地域総代会が開催され、2011年度の事業、活動、決算、2012年度の方針や予算が提案され、審議、検討の上、地域の総代によって承認されました。

県央西 地域本部

5月17日（木）　市民会館崇城大学ホール 大会議室

組合員総数：17,592名（2011.11.20現在）　総代定数：90名
【出席状況】 出席者数：57名、 委任状：25名

今よりもっと商品を利用し、仲間を増やしていきましょう

グリーンコープは「安心・安全な食べものを子どもたちに食べさせたい」と願う母親たちが集まり、みんなで出資し、みんなで利用し、みんなで運営していく仲間を増やしながら広げてきました。一人では解決できない問題を協同の力で乗り越えるためにグリーンコープは誕生しました。

組合員が望むものを生産者・メーカーが安心してつくり続けるためには、組合員がしっかり利用することが大切です。

だからこそ今私たちがすべきことは、利用はもちろん仲間を増やすことだと思います。

子どもたちの未来、家族の健康を守っていくためにも、グリーンコープが大好きな仲間を増やし、大好きなグリーンコープの商品をたくさん利用していきましょう。

地域理事長
村山 華奈

第１部：地域総代会

審議の様子

2011年度、多くの組合員と強い絆をつくろうと、いのちやくらしをテーマに様々な形で取り組んだ内容が、画像も交えて報告されました。また、依然として厳しい事業状態が続いていることも報告され、さらに組合員との関係を大切にし、利用する組合員を増やしていくことが重点課題に掲げられました。

総代の声

- 事業を広げ過ぎているのでは？もっと「食」に絞った事業内容で良いのではないか。
- ４Ｒ運動を掲げているが、まだまだ無駄を省く工夫が必要なのでは！

特別決議

「私たち組合員は、組合員として、今よりもっとグリーンコープの商品を利用し、仲間を増やしていきます」と、特別決議が村山地域理事長よりアピールされました。

第２部：清村養豚場　清村さんの講演会

今年度の重点方針「産直畜産物の推進」を受け、グリーンコープの豚肉生産者 清村さんの講演会を開催。

今から約40年前、中山間地で養豚業には向いてない所だったが、親戚から母豚を２頭もらって夫婦で始めた。その後、抗生物質を使わず豚肉をつくってみたいと思い、当時の生協と付き合いが始まった。

最初は失敗もあったが、組合員と一緒だと「何とかやっていける」とがんばれた。自分がつくったものを顔の見える人が食べてくれるのは嬉しい。うちの規模で養豚を続けていくのはなかなか厳しいが、続けていけるのは生協の買い支えがあるから。感謝をしている。

エサはもちろん遺伝子組み換えではないもの。生産者はそれぞれに工夫をしているが、うちでは発酵させたエサを与えている。効率は良くないが腸内環境が整えば元気な豚になると30年前から続けている。

毎日排泄される糞と尿は、愛農会と連携してＢＭＷ技術による処理をして、資源循環型畜産を実践している。処理後の活性水と堆肥でできた野菜は、糖度の高い野菜となり好評。環境にこれ以上の負荷を与えないためにも、母豚数は60頭程度で増やしていない。

昨年、後継者として京都より戻ってきた息子さんも一緒に参加。「親子でがんばっていく」とアピールされました。

県 南 地域本部

5月15日（火）　やつしろハーモニーホール 大会議場

組合員総数：7,899名（2011.11.20現在）　総代定数：38名
【出席状況】 出席者数：25名、 委任状：8名

母親の思いを力にしてグリーンコープを元気にしよう!!

今年度は、「仲間を増やし、利用を高める」ことを組合員の皆さんと共に考え、専従・ワーカーズと力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

グリーンコープは、母親の思いから誕生した生協です。「生命を守る」ことを大切にしているグリーンコープの良さを、一人でも多くの人に伝え、仲間を増やせるように、知恵を出し合いながら活動していきます。そして、組合員がしっかりと組合員になっていくように、三原則である「出資・利用・運営」を呼びかけていきます。

また、県南は理事委員が少ないので、共に活動する仲間を増やし、組合員活動が元気に進められるようにしていきたいと思います。

地域理事長
沖仲 真理

第１部：地域総代会

審議の様子

世帯当りの利用高が低迷する中で、仲間を増やすことを念頭に活動してきた2011年度の様子が報告されました。

新年度は、世帯当り毎週4,000円以上の利用が事業方針に掲げられました。商品は組合員の財産・宝物であることを伝え、みんなで協同の意味を考え、組合員が組合員になってグリーンコープを盛り上げていこうと呼びかけられました。

総代の声

- 目標が低すぎる。毎週5,000円くらいにしてがんばってほしい。
- 地域に向けて、もっとグリーンコープの活動をアピールしてほしい。
- 原発・TPPについて、いのち・くらし・安全を目指している生協としての方針を知りたい。

第２部：産直たまご生産者「那須ファーム」との交流

生産者の努力で値下げが実現した「元気いっぱい産直たまご」の学習会と交流会を開催。沖仲理事長から「たまごに愛情を持って利用普及していきたい」と挨拶がありました。

那須さん

44年間、鶏とたまごだけに関わってきた。

今やたまごは商品としてオーダーできる時代。人工的な環境でたくさん産ませたり、黄身の色を着色したり、白身を盛り上げ、栄養を強化するなど差別化するのは簡単。

グリーンコープのたまごは、母親の思いからスタートし、たまご本来のものを大切にしてきた。母鶏を健康に育てることで、健康なたまごが産まれる。組合員は親戚と考え、自分たちが食べるたまごを分ける思いで、安全にこだわっている。自然を活用し、愛情を持ってひよこを育て、エサにこだわり…ここまでのたまごはまずない。日本一のたまごと自信を持っている。注文数が減ると、余剰になる。このたまごの素晴らしさをもっと組合員に知ってもらい、一人でも多くの組合員に利用してほしい。

参加者の声

- 生産者のたまごへの愛情を感じた。
- グリーンコープのたまごの良さがよくわかった。
- 生産者の生の声を聞き、もっと注文しようと思った。

昼食は平成さくら通り店の産直たまごの卵焼き入りお弁当

みんなで楽しもう、スローＬｉｆｅ

未来の子どもたちに元気な地球を残すために、便利さや経済効率に惑わされずに、環境に負荷の少ない生活をしていきましょう！
環境を考えた様々な取り組みの様子と組織・環境委員会からのおすすめ商品を紹介します。

せっけんスタートセミナー

5/9 西部市民センターにて開催

せっけんメーカー「太陽油脂㈱」を迎え、委員を対象としたせっけんスタートセミナーが開催されました。

生田組織・環境委員長から、「グリーンコープでは合成洗剤の害をいたずらに訴えるのではなく、私たちが使って感じたせっけんの良さを伝える運動をしている。しかし、消費者として知っておかなければならないこともある。ＣＭやキャッチコピーに惑わされず、選択する力を持とう」と話がありました。

組合員も一緒に実験
左から長谷川氏、藤澤氏、組合員

学習会では、太陽油脂の長谷川氏より「地球上の生物を守っているオゾン層が有害な化学物質によって破壊され、このままでは地球が危ない。せっけん生活をすることで、６割の化学物質を減らすことができる。さらに、せっけんの排水は、川や海にあるカルシウムと結合し、食用せっけんが作られ、魚が食べ、その魚を人間が食べる。というように食物循環ができる安全なもの。だからこそ私たちは、せっけんを使うべき」と話されました。また、実験を交えてせっけんで汚れを落とす仕組みとポイントが紹介されました。

その後、地域本部毎に、今年度もせっけんのよさをしっかり伝えていく様子が寸劇等でアピールされました。

４地域本部からアピール
写真は県央東(上)県南(下)

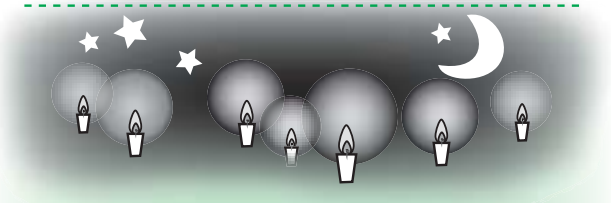
汚れを落とすポイント

POINT

- 汗をかいた衣類は、**一度水洗い**(予洗)をして、水を替えてからせっけん洗剤を入れ洗う。
- 洗濯機に入れる衣類の量は、自動計測より**３割程度減らす**。
- しつこい汚れは、**約70℃のお湯**２ℓに**酸素系漂白剤**20gを入れた洗い桶に60分程つけ、後は普通に洗う。

キャンドルナイト

夏至(6/21)，冬至(12/21)
3月11日



それぞれの思いをキャンドルに託し

電気を消して、スローな夜を

思いがけない発見、気づきと出会うかもしれません。

日常の中でくらしを見直すきっかけとして、そして東日本大震災で亡くなられた方々の鎮魂と震災・原発事故からの復興を願って取り組んでいきましょう！

全国のせっけん運動の仲間と共に

5/18～19開催

2012シャボン玉フォーラム in 東京

「いのちを豊かにつないでいく」をメインテーマとした今回のフォーラムは、東京電力福島第一原発事故を受け、放射能が人や生物、自然環境に及ぼす影響を「生物多様性」の面からも捉え、持続可能な社会に変えていくことが現在を生きる私たちの責任であると、改めて考えさせられる場となりました。

放射能だけでなく、私たちの日常には危険な物質が溢れています。せっけんを使うことは暮らしの視点から社会のあり方を問い、未来をつくることだと強く感じました。

組織・環境委員長　生田 裕美

シャボン玉月間 (6/18～7/14) 始まります！

カタログGREEN14～17号（６月18日週～７月９日週）でせっけん類商品、歯みがき類商品が利用普及価格になります。この機会に是非ご利用を！組織・環境委員からのおすすめ商品をご紹介します。

こどもハミガキ オレンジ味

我が家の子どもたちのお気に入りのはみがき剤です。子ども用ですが、私も時々使ってます。みがき上がりがさっぱりしていて子どもも大人も気持ち良い使い心地です。

県央西地域本部　小林 香織

おせんたくのしゃぼん無添剤(1.2kg)

針状に改良され、粉が舞わず扱いやすくなりました。せっけん分99％！ふんわり洗えて柔軟仕上げ剤はいりません。赤ちゃんの衣類におしゃれ着洗いにもってこいです。

県北地域本部　山内 陽子

震災復興募金が新たな支援の輪へと活かされます

熊本へ避難（移住）してきている子どもたちの保育を「げんきの森こども園」で引き受け、その保育料に募金を活用します

「第三次震災復興募金」では、くまもとでも4，242，500円の募金が集まり、その募金の一部は熊本に避難して来ている人たちへの支援にも活かされていきます。まずは「げんきの森こども園」でその子どもたちを預かることとし、募集案内を実施しました。4月14日には説明会を開催し、現在7名の子どもたちが「げんきの森こども園」で楽しいひとときを過ごしています。お二人の避難ママに話を伺いました。

今回の原発事故で、子どもが外で土や草などに触れながら五感を使って遊ぶことも難しいものとなり、鬱陶しい日々が続きました。昨年夏、３ヶ月間の短期疎開で熊本に来て、過ごしやすさを実感しました。その後、家族での移住を決意して再来しました。グリーンコープの脱原発の取り組みは以前から知っていたのですぐに加入しました。「げんきの森子ども園」も夏に見学をし、園舎や童歌など気に入っていたので、今回の支援の案内チラシを見て応募しました。東北現地への支援がほとんどの中、避難してきている人たちへの支援があることはとても心強く、嬉しいことです。

千葉県市川市より移住してきたママさん

子どもが外遊びできないのが一番の気がかりでした。情報がない中で怖がってばかりの生活でしたが、友人から「一度外に出てみたら」と助言を受け、７月に阿蘇で１週間過ごしました。そこで同じ思いで避難して来ている人たちと出会い、支援の輪もあることを知り、移住を決意しました。熊本は住みやすく、特に水がおいしいですね！「げんきの森子ども園」の受け入れ支援は、加入案内時のチラシで知りました。食べもののことを一番大切にしてくれるのが何よりの安心です。

東京都台東区より移住してきたママさん

受入内容

①受け入れ枠は、月ぎめ５人、一時預かり１日３人（15人登録制）です。
②給食費、施設費、教材費は保護者で負担いただきます。それ以外の保育料を支援します。
③就労できた場合は、認可保育園並みの保育料を負担いただきます。

✣入園枠（一時預かり）にまだ空きがあります。お問い合わせは下記へ。

げんきの森こども園
☎096－227－6520（大林）

わたしのグリーンコープ運動

食べることは 命をつなぐこと

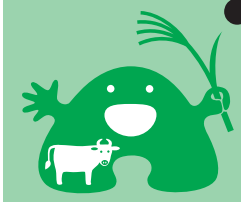
利用普及推進委員長　古津 理恵

長女の出産後、安心・安全な食べものを求めてグリーンコープに加入しました。その後、活動に参加するようになり、一番心に響いたことは、食へのこだわりだけでなく、つくり出される過程をとても大切にしていることでした。生産者やメーカーの思いに寄り添うことはもちろん、お肉になる家畜の健康や野菜を育てる圃場の微生物にまで思いをめぐらせる。食べるという行為がお腹を満たすためだけではなく、命をつなぐことであるということを改めて感じました。

市場では激化する価格競争の中で、安全な食べものより安価な食べものを求める傾向が強くなっています。安い食べものをつくるために環境破壊や健康被害など、人や自然が大きな代償を払ってきたのも事実です。将来、娘が母になり私と同じように子どものために安全な食べものを手に入れることができるように、今いっかりと利用し、守り続けていきたいと思います。

毎年夏には、酪農ホームステイで子どもたちも牛の世話を。

● 阿蘇草原再生募金にご協力をお願いします ●



広大な草原の景観・生物多様性・九州の水を守り、草原維持の担い手やあか牛を育てる。そのために、グリーンコープは「阿蘇草原再生募金」に積極的に取り組みます。

9370 阿蘇草原再生募金 一口 200円

〈募金の方法〉
注文用紙の特別申込欄にご記入ください。
毎週同じ番号で募金を受け付けます。

9371 阿蘇草原再生募金 一口 500円

募金状況：４号～８号 22,700円　　累計 3,600,400円

GCくまもと 独自品

くまもとのおいしさを お届けいたします

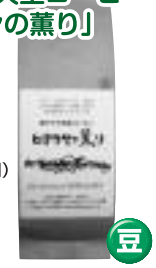
●申込書提出日：6月25日(月)～6月30日(土)
●配　達　日：7月 9日(月)～7月14日(土)

ご注文は14号注文書で！
特別申込欄に４桁の注文番号をご記入ください。

高級種アラビカ豆使用！
コーヒー本来のコクと甘みがお楽しみいただけます

ネパールの西部山岳地帯に暮らす小さな組合の農民たちが環境に優しい無農薬栽培で生産したコーヒーです。
商品代の一部は、環境に優しい自然エネルギーの太陽光発電パネルを、東アジアの村々に設置するために使われます。

●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」（豆）



150g
798.00円
（本体価格760円）
9366 月1回
豆

●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」（粉）

150g
798.00円
（本体価格760円）
9367 月1回
粉

●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」（ドリップ式4回分）

8g×4
350.00円
（本体価格334円）
9368 月1回
ドリップ式

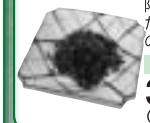
●ブルーベリージャム

蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。
180g
472.50円
（本体価格450円）
9353 月1回

●こいくちしょうゆ

旨み成分たっぷりの本醸造醤油。ブラジル産nonGMO脱脂加工大豆使用。
1.8リットル
567.00円
（本体価格540円）
9362 月1回

●たかなめしのぐ



阿蘇地方で栽培された「阿蘇たかな」を本漬けし、生協指定の調味料で味付け。
200g
315.00円
（本体価格300円）
9357 月1回

●完熟トマトジュース

阿蘇一の宮産のトマト「桃太郎」を原料に、１本に約12個を使用。
1リットル
787.50円
（本体価格750円）
9359 月1回

●釜炒り矢部茶（農薬不使用）

矢部町の通潤農園で栽培された茶葉を使用。
100g
567.00円
（本体価格540円）
9354 月1回

●ブルーベリーサワー

蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。甘さ控えめ。
720g
840.00円
（本体価格800円）
9356 スポット

●黒大豆入り味みそ

無添加の赤みそに、阿蘇産黒大豆やにんにく等の４種類の野菜を配合しました。
180g
420.00円
（本体価格400円）
9364 スポット

●国産紅茶（農薬不使用）

水俣の山間地で無農薬栽培された緑茶用茶葉を使用。
80g
472.50円
（本体価格450円）
9355 月1回

●なたね油

国産（一部オーストラリア産）の種子を圧搾法で搾り、湯洗いのみで精製。
1.65kg
981.75円
（本体価格935円）
9363 月1回

●支援コーヒー（豆）

200g
829.50円
（本体価格790円）
9360 月1回
豆

ブラジルのジャカランタ農園でつくられた有機栽培コーヒー。
チェルノブイリ原発事故による病気で苦しむ子どもたちへの救済カンパ100円が含まれています。

●支援コーヒー（粉）

200g
829.50円
（本体価格790円）
9361 月1回
粉

編集後記

桜満開の中、３人目の孫が誕生。里帰り出産ということでにぎやか、且つドタバタな日々を過ごした。何かと心配性の新米ママに教育的指導？を連発。ママ育てにも力が入ってしまう。人は子どもがいる限り、子育てが続く。90歳の母もまたしかり。忙しく動く私の体のことを心配して苦言が多い。娘もきっと同じことを思う日が来るだろう。（渡辺）

お詫びと訂正

１３７号５面の「自生ＧＭナタネ汚染調査活動」文章内の自生ＧＭナタネ発見箇所の地名に誤りがありました。
誤 天草市瀬戸町→正 天草市志柿町

もしもし電話コーナー

お金の問題で困っていませんか？
まずはお電話下さい
生活再生相談室
☎096-243-2100
開設曜日…月曜～金曜
第３週は月曜～土曜
開設時間…９時30分～18時

ふくし情報でんわ
フリーダイヤル 0120-540-294
FAX 096-338-4251
開設曜日…月曜～水曜（祝日は休み）
木，金曜は留守電対応
開設時間…午前10時30分～午後４時30分
携帯電話の方は 096－337－7226

GREEN
くらしアップ情報誌「くまもと」
フリーダイヤル 0120-51-8141
住宅リフォーム、エアコンクリーニング、引越しなどについてはお気軽にご連絡下さい

発行　グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任／理事会
編　集／機関誌編集室
発行所／〒860-0056
熊本市西区新土河原２丁目1-1
☎ 096-324-8118㈹
FAX 096-324-8123
印 刷 所／ホープ印刷㈱

■県北地域本部　13,272名
■県央東地域本部　26,229名
■県央西地域本部　17,048名
■県南地域本部　7,630名
合　計　64,179名
（５月20日現在店舗組合員を含む）